

成 果 報 告 書

【令和2年度教育改革推進事業経費】

所属部局	産学連携イノベーションセンター	代表者氏名	恵下 隆
事項名	学外支援者からの「起業教育の受援体制」の構築		
当初計画に対する目標達成率	80%	事業の終了時期	令和 3年 3月
予算配分総額	662,000円	経費使用総額	460,000円

【事業の成果】※具体的に記入してください。

- ・ 在学中もしくは卒業3～5年後に起業を目指し活動している学生（以下、起業希望学生）が、令和3年2月末時点で約60名見出された。
- ・ 令和2年度の在学生による起業実績は、教育学部2年 中澤怜士氏が株式会社wacodeを設立（同代表取締役）、システム工学部4年生 山内響太氏が株式会社Dropsを設立（同代表取締役）、システム工学研究科2年 上田遼佑氏が株式会社E-Researchの取締役就任（新規事業 ITカフェ「&&」の開業）があった。
- ・ 民間事業者などの学外支援者から受援する際のリスク（学生への不利益、大学の信用失墜行為など）を低減させ、共同して起業教育を実施するためのスキームを構築（覚書のひな形を整備）、令和2年度に民間企業3社と覚書を締結した（紀陽情報システム株式会社、VALUE ARCHITECTS株式会社、株式会社ラック）。

【当初計画段階との対比】※上記目標達成率を判断した理由等

①起業家卒業生から起業教育支援を受けるための学内制度の整備

先行する他大学への調査から、メンターは役割や専門分野・領域が多様であった。起業家卒業生のうち1名を実務家メンター（コーディネーター）として令和3年度から採用することができた。

②事業化を目指す学生への民間企業からの受援体制の整備

上記の3社との覚書締結を通じて、教育受援体制の整備ができた（※1）。今後、同様に民間企業などからの申し出があれば、覚書の締結ができる。

※1 <https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2020120900033/>

③起業希望学生と学外支援者のマッチングの仕組み（※一部、未達）

コロナ感染症対策のため起業希望学生と学外支援者との対面マッチング（OBOG Meetup）が想定とは異なる形（ピッチ形式：和歌山経営者協会で学生4名が発表）でしか実施できなかった。実務的な継続性の観点から、香村賞の一般公開などが今後の方向として考えられた。

【今後の展望等】

○本事業の発展性

- ・ 覚書締結を通じた起業教育受援体制は産学連携イノベーションセンターだけではなく、本学全学部で活用できるものである。
- ・ 学外支援者からは、本申請後も民間企業から新たな支援・連携の申し出を受けた。例えば、2020年7月に株式会社和み（代表取締役 古田高士氏）、2021年2月にパーク建物株式会社（代表取締役 木綿紀文氏）から学生の起業活動場所として物件の提供を受けた（株式会社和みからは「学生無料のコワーキングスペースNagomi Lab.」（※2）を開業し、そこに本学の起業希望学生も関与している）。こうした物件提供によって、本学としては中心市街地に教育施設が分散設置されることとなり、大きな資産（キャンパス）といえる。さらに、起業希望学生だけにとどまらず全学的に活用できる（本学キャンパスは中心市街地から遠く離れているため学生らと地元企業との交流にとって物理的な障害となっている）。こうした民間企業からの申し出を「覚書締結」によって公式に受け入れられるようになったことは将来性の拡張につながっている。

※2 <https://nagomilab.net/>

○大型の競争的資金等（COE、GP等）への申請実績及び今後の予定

- ・ 令和2年9月に科学技術振興機構「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」に申請したが、残念ながら不採択であった。
- ・ 一方で、前述のように覚書締結企業（VA社）から200万円の法人設立の資金提供を得ることができた（株式会社wacodeへの出資（※3））。

※3 <https://shinjuku.keizai.biz/release/62560/>

- ・ 「香村賞ビジネスプラン」コンテストには、柑芦会から学生起業を実際に支援するための枠組みとしてコンテストに「起業実践部門」を新設して頂いた。ここでは、起業活動支援金として最大10万円を提供頂け、学生教育の新しい展開が見込まれる。さらに、覚書締結企業（紀陽情報システム社、ラック社）からは起業伴奏支援と事業化支援金10万円を2社から頂いた。

○改善すべき事項

学外のビジネスプランコンテスト受賞歴 CVG（キャンパスベンチャーグランプリ）【特別賞北おおさか信用金庫賞】みんなの行きたいが一目でわかるお出かけメモアプリ「D r o p y」（システム工学部 山内響太氏）、「元気わかやま」ビジネスプランコンテスト【グッドプラン賞】Nagomi Lab 起業を実践する挑戦者が集まるスペースの創設（システム工学部 松田渡弥氏、前川大樹氏）